

アイデア出しのコツ

若者提案プロジェクト補助金説明会

ながおか・若者・しごと機構
理事 大島 健

回答の発想のコツ (質より量！)

- 既存のものと組み合わせ
- 真逆のものに変える
- 大きくする、大げさにする
- 小さくする、少なくする
- 他の物をまねる、名言や行動やシステム
- 連想させる
- ダジャレやパロディ
- ディスる、不満をあげる

回答をチェックするコツ (例外はあるけど基本は)

- あるある、共感や共通認識があるい
- 意外性、ちょっとひねくれてる
- ちょっと実際にありそう

- × お題を無視してる
- × 回答が長すぎる
- × 話が飛躍しすぎる

お題を作るコツ (基本手順)

1. アイディアのテーマを決める
2. テーマに関する情報・知識をえる
3. テーマに関する当たり前に疑問を持つ
4. お題の元になるキーワードを決める
5. キーワードを元にお題を組み立てる

大喜利風ブレストのコツ

- ・質よりも量を重視（精査は後でする）
- ・相手自身もアイデアも否定しない（マウントや上下関係NG）
- ・変なアイデアをほめる（実現可能不可能は考えない）
- ・他の人のアイデアも積極的に活用する（アレンジこそ醍醐味）
- ・条件や方向性や区切りを伝える（お題と司会の仕事）

情報集めのコツ (時短対応)

「ネットを使って」

- ・自分の知りたい情報や知識を検索する
- ・自分の考えを検索する

「書籍を使って」

- ・目次をしっかりと読む
- ・太い文字だけを読む
- ・「はじめに」と「あとがき」を読む
- ・雑誌は表紙を参考にする

「人を使って」

- ・経験者や知ってる人に聞く
- ・上記の人を知ってそうな人に聞く
- ・行政、関係団体、会社に聞く

大喜利思考になるために必要なこと

疑問を持つこと

(常識を疑ってみよう!)

発想力をもつこと

(広く新しい答えを考えよう!)

選択すること

(たくさんのアイデアから絞ろう!)

表現すること

(言い方書き方を工夫しよう!)

時短でチェックするのに必要なこと

時間を決めること

(5分以内で調べよう!)

連想していくこと

(キーワードをかえてみよう!)

とにかく書くこと

(掘り下げすぎ注意! メモの数が勝負!)

判断すること

(途中で決めつけず、最後に決めよう!)